



嵐山東だより

学校評価特別号（下半期）

京都市立嵐山東小学校
令和7年3月19日

孟春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解、ご支援いただき、誠にありがとうございます。12月には、学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果を報告させていただきます。今回の保護者アンケートの回収率は、50%でした。皆様のご意見を大切にし、来年度に向けて教職員一同決意を新たにしているところです。

＜アンケート結果の見方＞

ご協力いただいたアンケートは、ニーズ度調査型アンケートで、保護者、児童、教職員の三者それぞれに、表現の仕方に違いはありますが、ほぼ同じ内容の質問をしています。同じ項目で重要度・実現度を聞き、二つの結果をもとにニーズ度を出すものです。

- ・重要度と実現度の最高値は7
- ・ニーズ度の最高値は49
- ・重要度が高く、実現度が低いものほどニーズ度が高い。

ニーズ度が高いほど早期に改善が望まれる項目ということになります。ニーズ度によって、学校の魅力や優先的課題、長期的課題を見出していくます。

数値の見方

5.7 0.1

昨年より0.1pt上がって5.7

◎アンケート集計結果

【保護者】

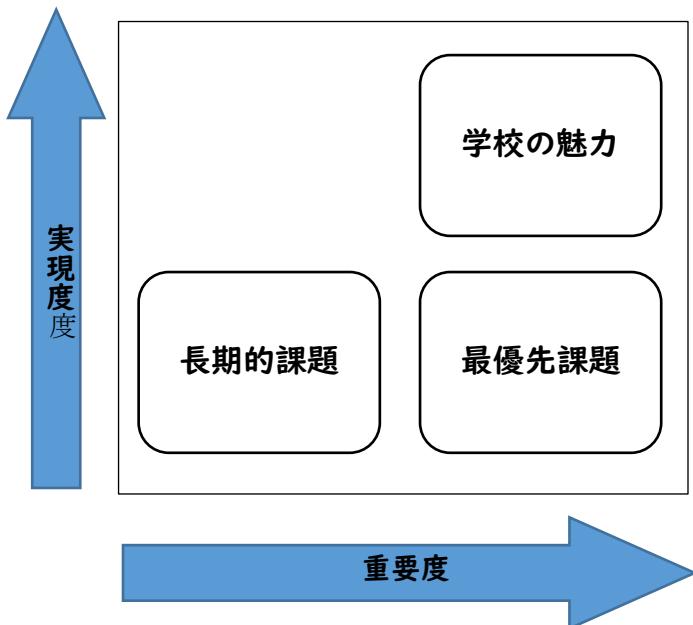
		質問文	重要度（増減）		実現度（増減）		ニーズ度
1	確かな学力	教職員が、熱意をもって教育活動に意欲的に取り組むこと。	6.2	-0.2	5.5	-0.2	15.6
2		学校が、学習環境を整えること。	6.1	-0.2	5.1	-0.2	17.8
3		子ども達が、意欲的に学習に取り組み、学習したことを理解すること。	6.3	-0.2	4.9	-0.1	19.2
4		子ども達が、話を聞く姿勢を身につけること。	6.4	-0.2	5.0	0.0	18.9
5	健豊やかかな心体・	子ども達が、きまりを守って生活すること。	5.8	-0.4	5.1	-0.1	16.4
6		子ども達が、よい友だち関係を築いて楽しく過ごすこと。	6.2	-0.3	5.4	-0.1	16.2
7		子ども達が、基本的な生活習慣を身につけること。	6.1	-0.3	5.2	-0.2	17.4
8		教職員が、児童と信頼関係を結ぶこと。	6.4	-0.1	5.2	-0.2	17.8
9		保護者が、子どもと会話する時間を大切にすること。	6.6	0.0	5.2	0.0	18.3
10	地域校との家庭連携・	保護者が、教職員に気軽に相談できること。	5.7	-0.3	5.0	0.0	17.0
11		学校が、教育方針や教育活動を学校・学年だより、HPなどを通して伝えること。	5.6	-0.2	5.2	0.0	15.3
12		保護者が、教育活動(参観・懇談会など)に積極的に参加すること。	5.4	-0.2	5.1	0.1	15.8
13		保護者が、学校から配られるお知らせのプリントなど確認すること。	5.8	-0.3	5.1	-0.2	16.8

【児童】

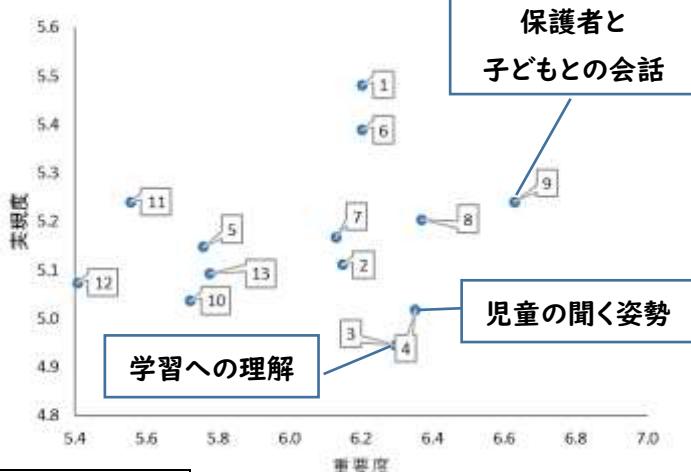
		質問文	重要度（増減）		実現度（増減）		ニーズ度
1	確かな学力	勉強(べんきょう)がわかること。	6.4	0.1	5.9	0.1	13.2
2		しゅくだいをすること。	6.4	-0.1	6.4	0.1	10.3
3		じゅぎょう中(ちゅう)に自分(じぶん)からはっぴょうすること。	6.2	0.0	5.4	-0.1	16.3
4		先生(せんせい)や友(とも)だちの話(はなし)をしっかり聞くこと。	6.7	0.0	6.3	0.2	11.6
5	健豊やかかな心体・	学校(がっこう)のきまりややくそくをまもること。	6.7	0.0	6.1	0.2	12.6
6		友(とも)だちを大切(たいせつ)にすること。	6.8	0.1	6.6	0.1	9.5
7		学校(がっこう)が楽(たの)しいこと。	6.5	0.0	6.3	0.2	11.2
8		なかよしの友(とも)だちがいること。	6.7	0.0	6.7	0.1	9.0
9		自分(じぶん)からあいさつをすること。	6.5	0.0	5.9	0.2	13.5
10	地学校との家庭連携・	家(いえ)の人(ひと)に学校(がっこう)であったことを話(はな)すこと。	5.7	0.1	5.5	0.2	14.4

【教職員】

		質問文	重要度（増減）		実現度（増減）		ニーズ度
1	確かな学力	子どもに学力が身につくように、教材研究・準備をすること。	6.8	-0.2	5.4	0.4	17.7
2		子どもに学習した内容が定着するように、学習課題(めあて)の提示とまとめ・振り返りをすること。	6.7	-0.1	5.4	0.0	17.4
3		子どもの実態や課題に応じて、一人一人を大切にした指導を行うこと。	6.8	-0.2	5.6	0.5	16.3
4		子どもに家庭学習の習慣が定着するよう働きかけること。	6.2	-0.2	5.0	-0.2	18.6
5		子どもが、授業中進んで発表するよう働きかけること。	5.9	-0.1	5.4	0.1	15.3
6		子どもが授業中、人の話を最後までしっかり聞くよう働きかけること。	6.9	0.0	5.8	0.1	15.2
7		授業中、子どもが書く機会を意識して作ること。	6.4	0.4	5.3	0.3	17.3
8	健豊やかかな心体・	子どもが学校の決まりや約束を守って生活するように指導するとともに、教職員も自ら守ること。	6.6	-0.3	5.8	-0.4	14.5
9		子どもが他人を思いやり親切にするように働きかけるとともに、教職員も行動すること。	6.8	-0.2	6.0	0.0	13.6
10		子どもが友だちを大切にし、仲よくできる学級づくりに取り組むこと。	7.0	0.0	5.9	0.0	14.7
11		子どもが自分から進んで挨拶ができるように働きかけるとともに、教職員自らが挨拶すること。	6.8	0.1	5.5	-0.3	17.0
12		子どものよさを積極的に見つけ、認め、ほめること。	7.0	0.0	5.9	-0.1	14.7
13	地学校との家庭連携・	保護者が気軽に質問したり相談したりできるように働きかけること。	6.2	0.0	5.2	-0.2	17.4
14		学校の教育方針について理解し、伝えること。	6.4	0.1	5.0	0.1	19.2
15		学校・学級だより・学校HPなどで、学校や子どもの様子を発信すること。	6.2	0.2	5.0	0.3	18.6
16		学校行事(授業参観・懇談会など)に参加するように働きかけること。	6.0	0.0	5.1	-0.1	17.4



保護者



◎アンケート分析

保護者アンケート

全体的に重要度が下がっています。実現度についても多くの項目で微減しています。今回、回収率が下がったことも関係しているのではないかと考えられます。

「学習への理解」と「聞く姿勢」についての依然としてニーズ度が高い（重要度は高いが実現度が低い）状態です。本校が取り組んでいくべき最優先課題とし、次年度に向けて取組の改善に努めています。

保護者が子どもとの時間をもつことについて、重要度・実現度ともに変わらず、こちらも課題として挙げられます。

「学校からの情報発信」についてはニーズ度が低く、すぐーるによるお便りの配信や学校 HP への記事の投稿についてある程度、評価いただいていると考えています。本校の魅力として今後も継続して取り組んでいく所存です。

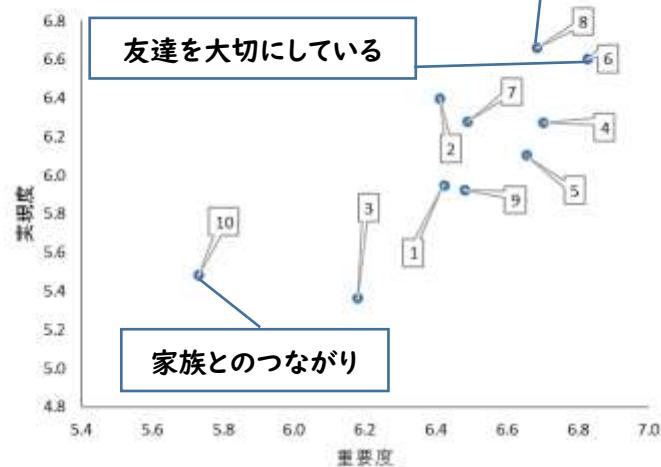
児童アンケート

全体的に実現度が、少し上がっています。特に「友達との関わり」については、重要度、実現度ともに非常に高い状態です。「学校が楽しい」と回答している児童も多く、学校が子ども達にとって安心できる場所になっていることが本校の魅力であるといえます。

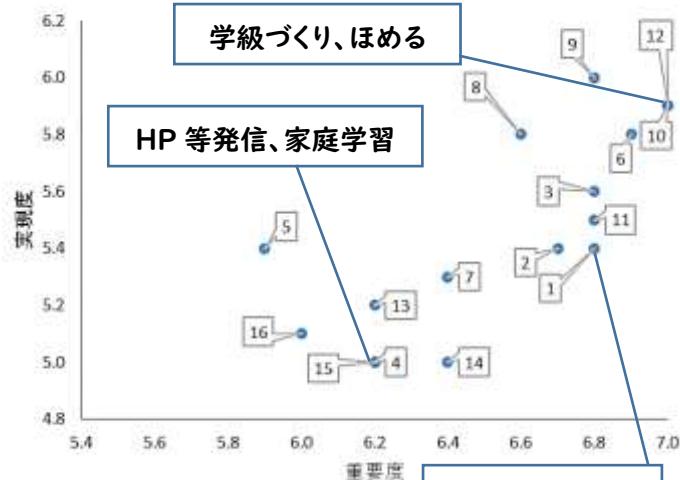
「学習への理解」については、保護者のアンケート結果との乖離が見られ、児童と保護者でめざす姿に違いがあることが考えられます。両者の意識をより合わせていくことが必要です。「学習への理解」について、実現度が低いと回答している児童もいるので、そういった児童への支援も引き続き行っています。

仲良しの友達がいる

児童



教職員



教材研究・準備

児童アンケート(続き)

保護者結果と同様、「家人とのつながり」のニーズ度が高くなっています、家庭での時間が少なくなっている背景がうかがえます。「あいさつ」について実現度が上がっています。後期に入りあいさつが定着してきた印象です。児童会を中心としたあいさつ運動の取組や、ご家庭でのお声がけの成果が表れたと考えられます。

教職員アンケート

上半期の課題であった「授業準備時間の確保」について、実現度が上がっており改善が見られました。教職員の働き方改革について、保護者の方にもご理解をいただいた結果であると考えています。ありがとうございます。

依然として、「家庭学習の定着」についてニーズ度が高い状態です。児童の結果との乖離が見られましたので、再度家庭学習の進め方について丁寧に指導を進めています。

「保護者への情報の発信」については、教職員の重要度・実現度ともに高くなっています。前期のアンケート結果での課題について、学級・学年だよりの配信や学校HPの頻繁な更新を心掛け、改善されてきましたといえます。保護者のニーズ度が下がったことも含めて、取組を評価していただいていると受け取り、今後も継続して取り組んでいく所存です。

◎記述欄より

◎学校運営・学級経営・保護者対応について 9件

「諭し、励まし、育ててくれている。」「どの先生も、よく子供達の事をみてくれている。」「(児童が)以前より前向きになれているように感じる。」といった多くの謝意をいただきました。ありがとうございます。一方で、「担任一人任せになっているのではないか。」「いろいろなことを禁止するは違うと思う。」「周りに貢献しようと努力している子が報われてほしい。」「保護者が納得できる指導、評価をしてほしい。」といったご意見もいただきました。学級経営については、学年担当が主となり学校全体で行っています。お子さんの様子について不安なことがありましたら、学校までお問合せください。評価については、前期の学校評価でもお伝えしました通り、学習指導要領(2020年度改訂)における評価の観点と評価規準に基づいて行っています。今後も保護者の方への情報共有を行っていきます。個人の評価について不明な点は担当までお尋ねください。

◎家庭学習について 3件

「自ら進んで学ぶことがやはり難しい。」「探究学習が学習に結び付いていないように感じる。」「自主学習がなぜ探究や調べ学習に限定されたのかわからない。」といったご意見をいただきました。後期よりスタートした「探究学習」ですが、取組の内容やそれによってつけたい力について、保護者の方に十分に伝えられていなかったようです。今後、家庭学習の取組について保護者の方への周知を図るとともに、内容の改善に努めていきます。

◎行事について 4件

「色々な貴重な体験をさせていただく機会があり、ありがたい。」といったご意見がある一方で、内容の改善を求める声も聞かれました。児童の負担が大きくなないように、時期や内容を調整していきます。

お忙しい中たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。以上アンケート結果について、学校運営協議会および理事会にて内容を共有し、学校教育目標の実現に向けて取り組みをさらに進めていくことを確認いたしました。今年度の学校評価を受けて、よりよい嵐山東小学校となるように、さらに力を尽くしてまいります。今後とも、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。